

第 2 号議案

- 令和 7 年度 事業計画(案)
- 令和 7 年度 予算(案)

概況

世界各地における政情の大きな変化や経済の動向を受け、平和の維持や地域の安定を支えていくことの難しさを改めて実感します。

アメリカでは 2025 年 1 月にトランプ大統領が就任し、関税の引き上げをはじめとする新たな政策が実施され、日本にも大きな影響が及んでいます。その結果、物価が高騰し、生産者・消費者・商業者のすべてが、さまざまな工夫を余儀なくされている状況です。

一方で、新型コロナウイルスの終息により、街には再び活気が戻ってきました。新たな政治・経済の動きの中で各種イベントも復活し、昨年には川崎市が市政 100 周年を迎えました。さらに、インバウンド客の増加も相まって国際化が進む中、これまで以上に「顧客の創造」が求められる時代となっています。

川崎駅周辺では再開発が進み、街の様相も大きく変化しつつあります。こうした変化の中で、私たち商店街にも新たな展開が求められています。

このようなエリアの状況を踏まえ、私たちは「新しい川崎の未来の担い手」となるための礎を築き、川崎の商店街をより魅力的な街へと発展させるべく、本年度は以下の基本的視点をもって取り組んでまいります。

事業計画（案）

1. 国際的な視野を十分に踏まえ、情報発信を密に行い、商店街の連携による強化を図ります。
2. 各商店街が抱える課題の解決に向けて意見交換をさらに推進し、商店街の活性化と強化に努め、家族で集える街づくりと賑わいの創出を目指します。
3. 地域の結束力を高めるとともに、各個店にも配慮した活動を提案し、積極的に実行していきます。
4. 施策提言の実行力を高めるため、課題を丁寧に掘り下げ、より良い解決策を導くべく、内部のコミュニケーション力を強化し、研鑽に努めます。
5. インバウンド客への対応をはじめとした新たな課題にも積極的に取り組み、集客力の向上と地域の繁栄に貢献します。

以上の方針のもと、川崎市の歴史と文化を尊重しながら、新たな川崎駅周辺の街全体の賑わいを創出してまいります。